

ZENROSAI 2318U007

謹賀新年



たすけあいの心から生まれた
多彩な共済で安心を。

誰かが困ったときにたすけあい、誰でもあたりまえに暮らせる安心を。
全労済は、生命や損害はもちろん賠償の分野までトータルに保障しています。
これからも、たすけあいの心で
常に時代にあった保障のカチを提供し、安心をお届けします。

住まいの共済 火災共済・自動車共済 小遣い共済 総合健康共済
お祝い金共済 マイカー共済 自賠責共済 遺体共済
交通損害共済 葬儀共済

全労済岐阜推進本部
(岐阜県労働者共済生活協同組合)

全労済は、最も目的としない保障の生協として
共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とより
お暮らしを応援しています。お問合せをお受け
いたします。ご組合員になれば、各種共済をご利用
いただけます。

あけまして
おめでとーございませす。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。
二〇一九年 元旦



けいこう使える
ほうきん

あなたご
わがちの
次の一歩

全労済

ぎふ労福協

岐阜県労働者福祉協議会 編集発行人/高田 勝之

vol.113

2019.1.1

岐阜市鶴舞町2-6-7
ワークプラザ岐阜内
TEL(058)248-6029
FAX(058)245-2410

【岐阜労福協機関紙】 連合岐阜・東海労働金庫・全労済・岐阜県勤労福祉センター <http://www.gifu-rofuku.jp/>

新年のごあいさつ



岐阜県労働者福祉協議会
会長 高田 勝之

岐阜県労働者福祉協議会の会員並びに関係者の皆
さん、新年明けましておめでとうございます。それぞれのご
家族共々、健やかに新年を迎えられたのではと推察を致
します。同時に昨年は、労福協の様々な取組みに対し、
深いご理解とご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げ
ます。

さて昨年は1月から3月にかけての全国での大雪に始
まり、6月には大阪北部を中心とした震度6の地震、7月
月上旬には平成最大の被害と言われた西日本集中豪雨、
また台風が毎週のように発生し日本列島を襲ってきまし
た。更に9月6日には、北海道胆振地方中東部を震源と
する震度7の巨大地震と、自然災害が多い1年でありまし
た。新たな年となった現在も、被災地では災害の爪痕が
強く残っています。1日でも早い復旧・復興を願うばかりで
す。そして岐阜労福協としては、2011年の東日本大震
災以降の災害被災地に対し、これまでと同様に心を寄せ
続けていきたいと思ひます。関係者皆さんの深いご理解
とご協力を改めてお願いしたいと思ひます。

また昨年は岐阜労福協として、結成65周年という節目
の年でもありました。

記念事業として、7月には関係者の皆さんで北海道労
福協への訪問を中心とした視察研修を実施しました。ま
た12月には社会貢献の一環として、岐阜県中央子ども
相談センターへの寄付も実施しました。こうした事業を通

じ、節目の年である事を皆さんと共に再認識をし、今後の
活動につなげていくことができればと思ひます。同時に、
今後の岐阜労福協の活動としてどうあるべきか、ビジョン
としても新たな年明けにあたり、考えてみたいと思ひする
所であります。

さて今年1年がどんな年になるのでしょうか?正直申し
上げて、想像が付きませんが、災害や殺伐とした事件も起
こらない、穏やかな年であってほしい、そう願うばかりです。
岐阜労福協としては、取巻く環境の変化はあるにしろ、
労働団体である連合岐阜や東海労働金庫、全労済、勤
労福祉センターの皆さんと、しっかりと連携をしながら、仲
間の皆さんが『安心をして暮らし、働き、老後を迎えられる
社会』を目指し、様々な運動に取り組んでいきたいと思ひ
ます。

終わりにあたり、私自身の座右の銘をご紹介したいと
思ひます。『牛の歩みも千里』という言葉であります。この
言葉の持つ意味は、牛が頑丈だから千里を歩くことが
できる、という単純な意味ではありません。牛のように歩
みの遅いものであっても、休まず歩き続けられ(努力を続け
れば)、千里の道をも行くことができる、という意味であり
ます。そのことを改めて肝に銘じ、本年の労福協の活動を
推進してまいりたいと思ひます。

以上申し上げ、2019年の年頭にあたり、ご挨拶と致し
ます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



ワークプラザ岐阜

無料駐車場80台完備

各種研修や会議、イベント、セミナーなど皆様の多目的な用途に於いて、大小さまざまな研修室を充実した設備と
リーズナブルな料金でご用意しております。



会場名	面積(m ²)	収容人数
大ホール	305.87	210
大会議室	131.57	78
大会議室	123.62	78
中会議室	62.38	36
中会議室	62.06	36
小会議室	37.16	16
小会議室(和室)	(12.5畳)	—

〒500-8163 岐阜県岐阜市鶴舞町2丁目6番地7
TEL/058-245-2411 FAX/058-245-2416
URL/<http://work-plaza.gifu.lekumo.biz/workplaza/>
駐車場/80台
休館日/12月29日~1月3日

新春のお慶びを申し上げます



東海労働金庫 専務理事 舟口 憲雄
全労済岐阜推進本部 本部長 豊田 由二
(一社)岐阜県勤労福祉センター 理事長 高田 勝之

岐阜労福協「森の学校」開校



大竹切りに挑戦



流しそうめんにご鼓



「森の学校」参加者

9月2日(日)に美濃市古城山のふれあいの森において、岐阜労福協主催の「森の学校」をお子さんも含め31名の参加により開校しました。「森の学校」は全国5ヶ所ある、「ろうきん森の学校」の内の一つ。

今回の岐阜労福協「森の学校」は、昼食の「流しそうめん」の作業として、大きな竹を切り、そうめんを流す桶を作りました。小さなお子さんもお父さんと一緒に一生懸命竹切りに挑戦、伐採されて倒れた時には大きな歓声が上がりました。

昼食には、お楽しみの「流しそうめん」、自分で作った竹の器を持ち、竹の良い香りの桶を流れるそうめんにご鼓をうち自然の中で大満足でした。

昼からは、色鉛筆作り、森の中で鉛筆材を各自切り出し、お父さんお母さんが心配する中で、お子さん達が沢山の色鉛筆を作り大変喜ばれました。

チャリティー文化講演会開催



講師／麻木久仁子氏

岐阜地区

麻木久仁子 講演会

11月20日、岐阜市文化センター小劇場にて、講師に麻木久仁子氏を招き「今を生きることとは～人生って終わりがあつたものなんですね～」と題し、講演会を行いました。

今回は、各支部での取り組みおよび連合岐阜での周知をしていただき、情報誌掲載や、中日新聞に開催告知記事を掲載したほか、近隣住民へ回覧板告知したことにより、多くの問合せがありました。

当日は天候も良く、各方面からお越しいただきました。

開催日当日まで入場整理券を求むる問合せがあり、岐阜市文化センターへも問合せが多く寄せられたとの報告を受けました。結果、入場者数は448名と多くの方に参加していただきました。講演内容は、分かりやすい語り口と、途切れない話題で飽きさせない内容、参加者からは大変良かったと好評を多くいただきました。

また、「被災地義援金募金」をお願いし、67,820円の協力がありました。



チャリティー講演会

飛騨地区

舞の海秀平 講演会

12月11日高山市民文化会館小ホールにおいて、舞の海秀平氏を招き、チャリティー文化講演会を開催し308名の入場者がありました。

「可能性への挑戦」と題し、山形県の高校教師の内定が決まっていたにもかかわらず、周囲の反対を押し切り、夢であった大相撲入りを決意し、新弟子検査では身長が足りず、頭にシリコンを入れ合格を果たした。小兵でありながら小結まで上り詰めた苦労話と角界の裏話等会場の笑いを誘う楽しい講演でした。

また、被災地チャリティー募金をお願いし48,016円のご協力がありました。



チャリティー講演会



講師／舞の海秀平氏

第14回岐阜県社会貢献顕彰者追悼式

10月29日に社会貢献顕彰碑の前で、第14回岐阜県社会貢献顕彰者追悼式を開催しました。



高田会長あいさつ

追悼式には、顕彰碑に奉納されている19名に、今年度新たに奉納される堀青義様を加え、20名の顕彰者となり、ご遺族と顕彰委員会委員参列のもと、式典を行いました。

冒頭、故人を偲び黙祷を捧げ、続いて高田会長より岐阜県における労働運動や社会運動、平和と民主主義を守る運動に貢献された先人の霊を慰めその功績を偲ぶために建立された顕彰碑「やすらいの碑」の説明と参列者への感謝を伝える挨拶をされ、新たに顕彰碑に奉納される、堀青義様の銘版をご遺族と一緒に顕彰碑内に納めました。銘版奉納後、ご遺族ならびに参列者全員、顕彰碑に献花を行いました。



顕彰碑へ献花



中部労福協 理念・歴史・リーダー 養成講座へ参加



8月7日～8日、兵庫県姫路市において中部労福協主催、労働運動・労働者福祉運動の理念・歴史・リーダー養成講座が開催され、岐阜からは、JP労組・三菱マテリアル労組・事業団体職員・事務局の5名が参加しました。

まず、中央労福協アドバイザー高橋均氏より、「2020年ビジョンの論議経過と検証」と題し、歴史から学ぶ労働運動・労働者自主福祉運動の理念と役割について講演を受けました。休憩をはさみ、賀川記念館参事西義人氏から「社会運動の先駆者、賀川豊彦に学ぶ」と題し、弱者に寄り添い、貧しく弱い人のために尽力した功績と、その凄まじい生き方について講演を受け大変勉強になりました。

その他、法政大学大学院の中村圭介教授から「地方労福協の実際と今後の可能性」について講演され、地方労福協本来の共助の取組みとは別に、ライフサポート事業や就労支援、生活困窮者自立支援事業等、広く社会に向けた他助の活動についての研究報告がされました。



養成講座風景



養成講座参加者



2018年 岐阜労福協 理念・歴史・政策セミナー 開催!



労働者福祉



講師／古賀理事長



セミナー風景

9月18日ワークプラザ岐阜5F大ホールにて連合総合生活開発研究所理事長の古賀伸明氏を講師に「2018年岐阜労福協主催理念・歴史・政策セミナー」を開催しました。

セミナーには次世代の組合役員および事業団体の若手職員中心に93名の方が参加されました。「労働運動・労働者自主福祉運動のこれから」～次世代を担う役員に寄せる期待～と題し、労働運動の歴史を振り返る中でこれからの労福協運動と協同組合との関わりあいで、労働者自主福祉運動の共助のあり方等について1時間30分熱く語っていただきました。

労働運動と労働者自主福祉事業の再構築については、労金・全労済が培ってきた歴史を踏まえ、なぜ労金、労済が必要なのかを問いかけ、新たな仕組みづくりが必要であり「福祉はひとつの」「共助」から「連帯」へそして「公助・公益」へ発展させることを目的とし、特に生協との関わり合いが重要と話されました。

岐阜労福協 創立65周年記念事業

7月20日～22日に岐阜労福協創立65周年記念事業のひとつとして、北海道労福協視察研修会を行い、23名が参加しました。

北海道労福協との懇談会では、北海道労福協の根本・前田両事務局次長から労福協の取り組みと、労金・労済の事業団体の取り組みについて報告されました。

特徴的な取り組みとして、「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」を目指し、労働者自主福祉運動の基盤強化を3本柱として①社会的連帯を深める、②暮らしの総合支援、③協同事業の活動が行われ、特にライフサポート事業では14のサテライトで相談活動を行い、年間1000件以上の相談件数があると報告があり、参加者から多くの質問をさせていただきました。

また、もう一つの記念事業では、12月21日に社会貢献活動として、岐阜県中央子ども相談センターに時計等の備品と書籍等を寄贈するため、労福協三役が訪問し贈呈セレモニーが行なわれ参加しました。相談センターの子ども達から大変喜ばれました。



高田会長から謝辞



質問する参加者



主催者あいさつ

2018年度

第1回岐阜労福協 産別代表者会議

10月16日、2018年度第1回岐阜労福協産別代表者会議を開催しました。労福協主催の産別代表者会議は今回初めての試みで、6～7月に各産別事務局へ要請訪問行動を行い、事業団体



産別代表者会議

ならびに労福協としての要請を行い、そのフォローとして、各産別代表者の方に、要請内容の再確認と事業団体の事業報告および推進について、各事業団体から説明を行いました。

労福協からは行事報告・奨学金制度の改善・岐阜県への要請等を行ない、東海労金は「家計の見直し運動」「つみたてNISA」について奨学金借換を含めた教育ローンキャンペーンについて、全労済からは先の台風被害を含め各地で災害が発生しておりその給付状況と自然災害共済への付帯、マイカー・自賠責共済への加入促進、勤労福祉センターからは会議利用状況と会議室利用のお願いを行いました。



面談する弁護士

奨学金に関する 相談会開催

11月3日・10日の2日、ワークプラザ岐阜において、弁護士帯同にて奨学金に関する相談会を事前予約制で開催しました。また、飛騨地区においても、何でも相談会(10月13日・11月17日)の中で奨学金問題についての相談を受け、開催しました。

今回の相談会は中央労福協全国一斉取組みの一環として全国各地で行なわれ、岐阜地区においては、相談会に向けて、チラシ2,000枚を作成し、各種団体への配布、呼びかけを行いました。また、情報誌へ掲載し参加を呼びかけましたが、相談者は2名に留まりました。要因として、周知期間が短かったことと、奨学金だけの相談者が少なかったためと思われます。



相談会チラシ

勤労者福祉の向上をめざし 岐阜県へ要請



高田会長あいさつ



井川県商工労働部長へ要請書提出

11月15日、岐阜県庁において、勤労者福祉向上をめざし岐阜県に対し要請を行いました。要請内容は①格差・貧困社会是正、セーフティネットの拡充、②奨学金制度の拡充、③防災・減災の取り組み、④消費者・県民の安全・安心の取組みについての4つの課題10項目を要請しました。

特に生活困窮者自立支援法改正に伴う、改正の趣旨・目的について関係者や県民に周知・啓発の徹底と、東海、東南海地震発生が80%と言われる中、自治体が管理する道路・橋梁・トンネルなどの点検・改修を要請しました。

また、質疑応答の中で、県内における児童虐待の実態、自転車自賠責保険・共済の加入促進、自治体管理の橋梁の安全確認について意見交換を行いました。

2018年度 中部労福協研究集会に参加



SDGs研修



嘉田前滋賀県知事

10月11日～12日、滋賀県草津市「クサツエストピアホテル」において、2018年度中部労福協主催「研究集会」に参加しました。

最初に、嘉田前滋賀県知事が「近畿の暮らしと命を守る琵琶湖～災害多発時代の自助と共助の仕組みを考える」と題し、「治水と利水」について知事時代に行なってきた施策と災害の危険性を常に考えることを熱く語られました。

また、NPO法人四つ葉のクローバー理事で、守山市議会議員の森重重則氏と施設長の池上悠樹氏が、居場所のない若者達が社会へ旅立つために、自らも、幼い時から児童養護施設出身の経験から、社会性が乏しいため「引きこもりや非行」に走る

若者が多く一人ひとり寄り添った居場所としての活動について話された。

翌日は、ガイヤコミュニティ取締役、風かおる氏よりカードゲームによる「2030SDGs」を行い、言葉は知っているても、内容があまりよく判らないSDGsについて、カードゲームを通じて、私たちの世界は今どんな状態なのか、私たちの世界は持続可能なのか?

世界の状況について議論する時期は終わり、今世界に必要なものは行動であると学びました。

暮らしの なんでも 相談所

職場の人間関係がうまくいかない、借金で生活が苦しい、親の介護に疲れた、障害のある子供の将来が心配、などひとりで悩まないで、まず一度お電話ください。

●ライフサポートセンター岐阜 ●飛騨勤労者サポートセンター ☎058-214-7300 ☎0577-57-8002



中央労福協 第8回加盟団体代表者会議開催!

「社会的連帯を深める運動と政策」の実現に向けて



神津会長あいさつ



代表者会議風景

11月21日に東京のホテルラグウッドにおいて中央労福協第8回加盟団体代表者会議が開催され、2年サイクルの活動の中間総括と補強について議論されました。

神津中央労福協会長は挨拶の中で、2019年の中央労福協結成70周年に向けて、「労福協の理念と2020年ビジョン」の検証・見直しに向けた検討作業をスタートさせ、これまでの成果や課題を踏まえた継承・発展をはかるとともに、「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」のさらなる前進に向けて、今後の活動の指針となる次期ビジョン

策定に向けた討議を深めて行くと言われました。

代表者会議では「中央労福協結成70周年記念事業について」、「副会長の増員について」が提案され承認されました。

また、会議の終了後には「労福協への期待～共助から連帯へ～」と題し法政大学大学院の中村圭介教授による記念講演があり、中村教授が実際に訪問した、地方労福協の取り組みを第三者的な眼で観た感想と特徴が報告され、改めて他の労福協の活動を認識しました。

被災地岩手県を視察訪問!



旧大槌町役場



岩手労福協へ義援金贈呈



三浦組合長の説明

10月17日～18日に岩手県被災地を常任幹事12名で視察訪問しました。

最初に、ボランティアの案内により大槌町に向かい、10.7mの大きな津波による1285名の犠牲者が出て、その象徴となっている旧役場庁舎を視察、庁舎の屋上まで津波が襲った現場を見てその凄まじい威力を強く感じました。大槌町視察後、新日鉄住金釜石労組にて岩手労福協との懇談会を行い、冒頭、高田会長より岩手労福協八幡理事長に義援金を贈呈しました。

続いて、新日鉄住金釜石労組三浦組合長より震災での被害状況と釜石市の復興状況の説明を受けました。

新日鉄住金釜石労組の組合員も多く被災し、2名の方が亡くなられ、特に残された遺族の心のケアに寄り添いながら支えたこと、生活復興に向けた支援活動、また風化させない取り組みを行っているという元ラガーマンらしく熱く語られました。

翌日は、県内で一番被害が大きかった、陸前高田市を訪問、こちらも案内人の方に津波被害場所を案内していただいた。また犠牲者が一人も出なかった、気仙沼中学校他を視察、前面には高さ12mの防潮堤が覆いかぶさるように建設されており、「居住区は10mかさ上げされているのに、防潮堤が要るのか疑問が残る」と言われたのが印象的でした。

今回の岩手県視察でまだまだ復興には程遠く、東日本大震災を風化させてはならないと強く感じました。



岐阜労福協 チャリティーゴルフ大会報告

11月1日恒例の第21回岐阜労福協チャリティーゴルフ大会をぎふ美濃ゴルフクラブにおいて開催しました。大会は労福協各支部・事業団体・産別代表により、17チーム64名の参加があり、各支部での予選会を勝ち残った精鋭がプレーを楽しみ、結果は団体優勝:西濃支部、準優勝:中立クラブ、3位:岐阜支部となりました。大会ではチャリティー募金をを行い、61,450円の募金協力がありました。



優勝:西濃支部



準優勝:中立クラブ



3位:岐阜支部

第54回岐阜県勤労者球技大会

10月14日ソフトボール県大会を、各務原総合運動公園において一昨年度優勝・準優勝チームを含む12チームで行いました。ボウリング県大会は11月11日に岐阜市マーサボウルにて開催し、前年度優勝・準優勝チームを含む19チームで競い合いました。

ソフトボール県大会



優勝/JR東海高山工務区



準優勝/KYB労組



審判団のみなさん

ボウリング県大会



優勝/イビデンAチーム



準優勝/カワボウ労組



ゲーム開始